

二宮 金次郎

柴刈り縄ない 草鞋をつくり

親の手を助け 弟を世話し

兄弟 仲良く孝行つくす

手本は 二宮 金次郎

骨身を惜しまず 仕事にはげみ

夜なべすまして 手習い読書

せわしい中にも たゆまず学ぶ

手本は 二宮 金次郎

家業 大事に 費えをはぶき

少しの物をも 粗末にせずに

遂には身を立て 人をも救う

手本は 二宮 金次郎